

日工販ニュース Vol.2 — 2015



もくじ

第46回 通常総会	2
「会長就任挨拶」	富田 薫 2
「議事録」	4
「記念講演：日本の出版事情とグローバル時代の書店経営」	高井昌史 6
「懇親パーティー」	21
「平成27年度 日工販役員」	28
話題の技術 「進化した新型CNC装置「MAZATROL SmoothX」の新機能」	ヤマザキマザック(株) 黒倉 素 30
私の読書評 「物語 イタリアの歴史 I & II」	(株)東陽 羽賀象二郎 32
工作機械と私	丸紅マシンツールズ(株) 上野 貴史 33
議 事 録 「理事会」「東部」「中部 正・副会員懇談会」	
「平成27年度 SE 講座・更新研修 講師打ち合わせ会」	34
私の軌跡	マルカキカイ(株) 黒澤 淳一 38
統計資料 「FA 流通動態調査1」「マシニングセンタ・NC 旋盤動向」	
「工作機械業種別受注額」	40
リレー随筆	三菱商事テクノス(株) 松井 健 43
ひとくち豆知識 「号口(ゴウグチ)について」	44
SE 教育 「合格者」	44
甘口辛口 「人材」	甲信商事(株) 半場 宏 45
海外だより	(株)牧野フライス製作所 玉川 英史 46
消息・行事	47
会員会社	49

SE資格者にご回覧下さるようお願いいたします。

会長就任挨拶



日本工作機械販売協会 会長

富田 薫

(株)トミタ 取締役社長

第46回通常総会におきまして、上田前会長の後任として、第19代日工販会長を拝命しました富田で御座います。宜しくお願ひ申し上げます。

皆様におかれましては、日工販に対し日頃よりご支援とご協力を賜り、心より感謝致します。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

日工販は日本のものづくりと共に歩んできた長い歴史と実績があり、その会長職と言う大命を拝しまして、身の引き締まる思いです。はなはだ微力では御座いますが、協会の発展、ひいては日本のものづくりの発展に貢献出来ます様、全力を尽くしますので、上田前会長同様、引き続きご支援、ご指導を賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

日工販の活動につきましては、上田前会長の方針を継承し、一部独自色を付け加えて行きたいと思ひます。

ここで、少し我が国の工作機械の受注の推移を振り返ってみたいと思ひます。

1990年の暦年総受注は約1兆4千億円で、内需は約1兆円、外需が約4千億円でありました。近年日本大手企業の海外工場進出により、内需は、アップダウンはありますが下降傾向であり、外需は上昇傾向です。2008年に発生したリーマンショック後の2009年の総受注が4,118億円で、内需は1,596億円で、外需が2,522億円となり、内

需は統計上最低額を記録しました。しかし2014年は、総受注が1兆5千億円を越え、もう内需が5千億円を超えることがないのではないかと悲観的になっていましたが、円安や近年の政府の業界に対するものづくり補助金、省エネ補助金、設備投資促進税制等の諸施策により、設備機械の買い替え需要が喚起され、最近月の内需が500億円を超える事もあり、今年の内需合計は久し振りで5千億円を超え、総受注は1兆6千億円を超える事が期待されます。

従いまして更なる受注拡大のためには日工販各会員の販売力が役割として重要となってきており、日工販としては次の方針を遂行する所存であります。

1. 日工販が何をするのが各会員にとって一番良いのかは、会員各社の営業力、販売力アップの一助となる方策をとるのが一番重要であります。具体的には、SE教育の充実、各メーカー製品の勉強会、工場見学会等を各会員に対して継続的に提供して行く事です。
2. 日工販の組織力を、対外的に発信して行く事です。具体的には日工会様始め各業界団体との定期的情報交換会。経済産業省のご協力を頂き業界向け各種補助金等説明会を主催する。海外特にアジアの展示会にミッションを派遣する等であります。
3. 会員数を増やす努力をする事です。日本工作機械販売協会と日本の冠が付いている訳ですので、現在では少し会員数不足です。真の日本の工作機械販売団体の代表になる為にも、正会員数を年間5社ずつ増やして行きたいと思っております。

以上の諸施策を実行し、日工販が名実ともに工作機械販売業界の代表となり、日工販各会員が期待以上のメリットを享受出来る日工販として努力する所存ですので皆様のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

議事録

日 時：平成27年6月9日(火)
13:10~13:45
場 所：第一ホテル東京

日本工作機械販売協会 第四十六回通常総会 平成二十七年六月九日 第一ホテル東京	総会 次第	開会 議長挨拶 議長選出 議案審議	第一号議案 二十六年度事業報告 並びに決算承認の件	第二号議案 二十七年事業計画案 並びに予算承認の件	第三号議案 定款改訂の件	閉会	記念講演 講師 高井昌文氏 株式会社 紀伊國屋書店 代表取締役社長 演題 「日本の出版事情と グローバル時代の書店経営」
--	-------	----------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------	----	---

【議 事】

1. 開会 (13:10)

宇佐美専務理事が進行係となり、別紙「総会次第」に従い議事を進めた。

2. 総会の成立

専務理事より「本日の出席社42社(46名)です。うち議決権行使者は42名、有効な委任状提出30社、合計72社であり、現在の在籍正会員数は74社につきこの総会は定款の定めにより成立する。」旨報告があった。

3. 会長の挨拶

上田会長より、「会員各位のご協力をいただき只今から上程議案の審議をお願いいたします。」との開会の挨拶があった。



4. 議案の審議

定款第14条に従い上田会長が議長に就き、第1号議案から第4号議案まで審議の結果、それぞれ次の通り承認された。

(1) 第1号議案 平成26年度事業報告並びに決算承認の件

- ① 議長が事業報告書の「概要」を述べた。
- ② 専務理事が「決算報告書」の説明を行った。
- ③ 議案の審議に先立ち議長は監事に対し監査結果の報告を求めた。
- ④ 監事を代表して三橋監事から「平成26年度の収支計算書、貸借対照表、諸帳簿、証憑を監査した結果、適正であることを認める」旨報告があった。
- ⑤ 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

(2) 第2号議案 平成27年度事業計画案並びに予算承認の件

- ① 議長が事業計画案を提示、専務理事から予算案について説明を行った。
事業計画では基本方針に基づき、平成26年度事業の概要を引き継ぐとともに、各行事の継続実施と充実を図る。
一般会計予算は、会員のための三地区活動をより充実させるために予算増及び総会、賀詞交歓会の会場の経費増と事業補助費は



下野監事(左)と三橋監事(右)

前年度比12%増となるが収支差額は前期に続きプラスを確保する。

教育事業特別会計は、受講者を前年度実績に対し基礎講座、SE講座、更新研修では増加を見込み、営業提案力&技術提案力向上研修会を前年度にて終了としたため、プラスを確保する。

② 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

(3) 第3号議案 定款一部改訂の件

定款第2章目的及び事業第4条に第2項として独占禁止法に関連した法令順守の文言を追記、そして項、号、文言の整理、監事の職務の規定、以上の改定案について議長が出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。



お手伝い下さった受付の皆さん

(4) 第4号議案 会長・副会長の件

議長より会長に富田理事、副会長に高林理事、池浦理事、赤澤理事を候補案として出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

5. 議長挨拶

議長は、以上をもって全議案の審議が終了したことを告げるとともに、出席者の協力に対し謝辞を述べた。(13:44)

6. 閉会

宇佐美専務理事より、閉会を宣し通常総会を終了した。(13:45)



新旧会長



『日本の出版事情と グローバル時代の書店経営』

講師：高井 昌史 氏（㈱紀伊国屋書店 代表取締役社長）

日工販第46回通常総会に引き続き記念講演会が126名の参加者を迎え14時10分より1時間35分にわたり開催されました。

当日、高井講師の講演を聞けなかった会員の皆様に講演要旨をここにご紹介します。特に講演の最後の部分では「私を形づくってくれた本たち」と様々なジャンルの本の紹介がありましたが、終了時間が迫ったため説明を割愛されたところが多かったのですが、この部分をもう一度紹介して欲しいとの声が多く講演者に内容を確認しましたのでここに紹介します。

講師略歴

昭和22年東京都生まれ。大学卒業後、昭和46年㈱紀伊国屋書店入社。各地の営業所長、宇都宮営業所長、情報政策部長などを歴任。平成5年取締役、平成11年常務取締役、平成16年専務取締役、平成18年取締役副社長を経て、平成20年代表取締役社長就任。主な著書に『本の力』（PHP研究所）がある。

始めに・・・

講演は次の内容で行われました。

1. 創業者 田辺茂一（生誕110年）と文化の継承
2. 出版界の現状
3. 国内各地への出店と営業展開
4. 海外進出とグローバル時代の書店経営
5. 本の力

この中から1.創業者 田辺茂一（生誕110年）と文化の継承、3.国内各地への出店と営業展開、そして海外進出とグローバル時代の書店経営の部分は紙面の都合上割愛させて頂

き、2.出版界の現状から要旨を、そして5.本の力をここにご紹介します。



司会 宇佐美専務理事

～～ 出版界の現状 ～～

●出版業界の市場動向

出版業界は大変な不況産業でよくこのように社長がのんびりと講演が出来るのかといった状況です。日本の出版市場は1996年には2兆6千億円の市場がありましたが、2014年には1兆円が無くなってしまい1兆6千億円になってしまいました。特に雑誌は廃刊が多く大変苦しくなってきました。これまで年率3%位で市場が減少していますので、東京オリンピックが開催される2020年には1兆3千億円くらいになってしまう位の減りようです。ただ海外に比べますと日本の出版は多いということになっています。

●紀伊国屋書店の店舗の売上

店舗の売上は、1996年が584億円で2013年が579億円とほぼ横ばいですが、ただ1996年は全国で37店ありましたが、2013年は64店で坪数は11,009坪から30,089坪と約3倍となってやっと売上が同じ位になったということです。つまり売り場面積を増やして、お店を増やして売上を維持したことになります。新宿には二つの大きな店があります。本店と南店ですが、1996年の新宿本店の売上が119億円、2013年が107億円ですが1996年の坪数は1,030坪で2013年は2店で2,813坪と2.8倍に増えています。会社の売上が1996年では1,070億円で2013年は1,071億円と1億円増えただけです。1兆円の市場が無くなってしまったのによく横ばいでいますねとされています。それには営業をやっており、大学とか研究機関

といったところで本を沢山購入して頂いています。これが426億円から445億円とかなり増えていて、海外は連結しておりませんが配当が53億円から170億円と3.2倍に増えています。ということで海外が一番好調であるということになります。

●読書離れ～本の未来を揺るがすもの

①少子化

いかんともしがたい現状で子供の数が減るとまず児童書の売上が下がる訳です。

②大学生の40.5%が読書時間ゼロ

教科書、マンガ本も含めて40.5%の大学生が全く本を読んでいません。

③ネットとスマホの普及

ゲームをやったりして読書時間が少なくなる。

④電子書籍の普及

まだ爆発的には売れていませんが徐々に普及していく。

⑤図書館の貸し出し増

図書館の貸し出しの方が売れている本より多くなってきている。ベストセラーの場合待ち時間が長くなって図書館から借りる方が多くなってきている。ベストセラーの本を50冊も購入する図書館があります。そうすると貸し出した本に対して著作権料が全く入らないことになります。今では東野圭吾、宮部みゆきクラスでも30万部で終わってしまい、今10万部売れる作家が居なくなっており、作家にお金が入らない、出版社にもお金が入らないと編集費が払えない。そうすると



いい本が出ないといった大変由々しき問題になっています。

⑥ネット書店の拡大

アマゾン、楽天等にて本を購入することが多くなってきており本屋にとって厳しい状況になってきています。

⑦コンビニの存在や新古書店の存在

コンビニも雑誌、本、マンガを置き困った存在です。

⑧万引き問題

今は換金目的の万引きが多くなってきています。ネットを通じても販売出来るようになってきています。

⑨教育面での課題

家庭で3歳頃から親が本に馴染ませ、300冊ほどの本は家庭に置き本を読む習慣をつけさせる親が少ない。学校では特に公立高校の図書室が予算の関係で貧弱。

⑩中学受験

4年生くらいから塾に通い、本を読んでいた

ら中学が受からないと言われるくらい受験勉強に追われる。

⑪朝読

秋田県、福井県、鳥取県は非常に良く図書室を整備していてそちらの生徒たちは全国の試験で上位にあり、朝読をすっかり習慣づけています。国語力がはっきりと成績に表れています。

私を作ってくれた本たち

高井講師より紹介された本の説明を確認したところ、同氏が昨年出版した『本の力』に説明があるとのことですのでそれぞれの本の説明は寄贈頂いた同書から引用しました。

次ページより紹介致します。(事務局)

*** 宗教と死 ***

『出家とその弟子』



倉田 百三【著】 岩波書店 (2003/07 発売)
 : 仏門に入りながらも「恋」に悩む唯円とその師・親鸞の物語。修業が足りないとする兄弟子たちに対し、親鸞の答えは意外なものだった…。迷いを持ってこそ人であり、仏に近いのであるということを描く。戯曲形式で綴る。

『沈黙』

遠藤 周作【著】 新潮社 (2003/5 発売)



: 島原の乱後、次々とキリシタンが改宗を迫られていた。ある外国人宣教師もまた、自らのためだけでなく他社への救いのために踏み絵を踏む。そのとき、神は共に痛みを分け合うために沈黙していたのだと悟り、自分の立場を改めて見つめていく。
 谷崎潤一郎賞受賞

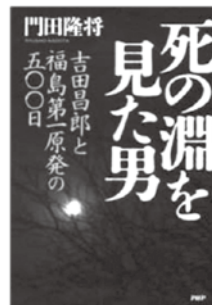
『出星前夜』



飯島 和一【著】 小学館文庫 (2013/02 発売)
 : 過酷な年貢取り立てと悪政に耐えかね、ついに武力蜂起へと立ち上がったキリシタンである寿安とその仲間たち。額に赤い十字架を入れ、彼らは続々と森に集まった。島原の乱を綿密に調べ、人間の尊厳と島民の怒りを描く。
 大佛次郎賞受賞

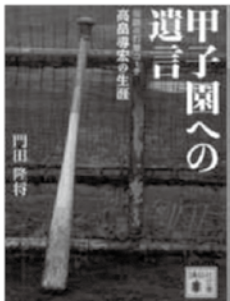
*** ノンフィクションから伝わる生の声 ***

『死の淵を見た男』



門田 隆将【著】 PHP 研究所 (2012/11 発売)
 : 福島第一原発事故後、吉田所長とその部下たちは死を賭して、被害を食い止めようとした。現場に居たからこそ証言できる内容を、ノンフィクションの名手が記した臨場感あふれる一冊。

『甲子園への遺言』



門田 隆将【著】講談社（2008/12 発売）

：プロ野球選手引退後、打撃コーチとして多数の首位打者を指導した高島道宏。プロから去った後、高校教師として甲子園を目指したが、夢半ばにして病に倒れた生涯を、定評ある取材手腕と名文で綴る作品。

『神宮の奇跡』



門田 隆将【著】講談社（2008/11 発売）

：昭和33年、東都野球リーグは未だかつてない興奮にあった。甲子園経験者のいない学習院大学が三度の優勝決定戦を経て勝利を勝ち取る「奇跡」を目にしたのは、同大学出身の皇太子殿下（今上天皇）だった。高度経済成長に沸く日本を描いたノンフィクション。

『康子十九歳戦禍の日記』



門田 隆将【著】文芸春秋（2011/07 発売）

：太平洋戦争時、勤労働員された女学生・栗屋康子。戦時下における家族への思いや淡い恋をその日記から綴る。原爆の二次被害のため十九歳の若さでこの世を去った少女の生涯。

『この命、義に捧ぐ』

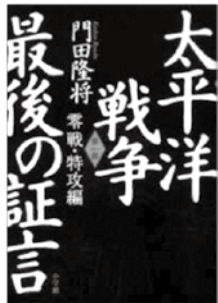


門田 隆将【著】KADOKAWA（2013/10 発売）

：ポツダム宣言受諾後も攻め来るソ連軍に対し、日本人引き上げのため最後まで戦った陸軍中将の根本博。のち台湾政府の対中共作戦に協力した男の生き様を丁寧な筆致と史料で描く。

山本七平賞受賞

『太平洋戦争・最後の証言』



門田 隆将【著】小学館（2011/08 発売）

：太平洋戦争従軍の元兵士 100 人以上に取材して書かれた戦争ノンフィクション。「零戦・特攻編」「陸軍玉砕編」「大和地位没編」の三部作。兵士たちはそのとき、何を考えて行動したのか。生死を分けたのは何だったのか。当時を知る人の生きた証言が大きな衝撃を与える。

『なぜ君は絶望と闘えたのか・木村洋の 3300 日』



門田 隆将【著】新潮社（2010/09 発売）

：1999 年に起こった山口県光市の 18 歳少年による殺人事件。被害者の夫である木村洋は亡き妻と子供の尊厳を守るため、司法への闘いを挑んだ。細やかな取材で綴られた迫真のドキュメント。

『狼の牙を折れ・史上最大の爆破テロに挑んだ警視庁公安部』



門田 隆将【著】小学館（2013/10 発売）

：東京丸の内にある三菱重工ビルをはじめとする企業爆破事件。多くの犠牲者が出たこの事件を追う警視庁公安部と記者たちのすさまじいほどの執念を描いた圧巻の作品。膨大な資料と著者の綿密な取材が光る。

* 敗戦の昭和史を知る意味 *

『永遠のゼロ』



百田 尚樹【著】講談社（2009/07 発売）

：祖母の四十九日に祖父から、血の繋がった祖父ではないことを告げられた佐伯姉弟。調べてみると実祖父は敵艦に突っ込んだ特攻隊員であったという。しかし生き残りの同志たちからはなぜか「海軍航空隊一の臆病者」という不名誉なあだ名がつけられていた。凄腕の零戦乗りであったのに「命を惜しむ男」と呼ばれた祖父の真の姿とは？

『特攻の思想・大西瀧治郎伝』



草柳 太蔵【著】文春文庫（1983/08 発売）
 : 戦争中に行われた特攻について、「送られた側の心理」ではなく、「送った側の論理」から追究した評伝。著者が取材と資料を基に、特攻生みの親とされる大西瀧治郎の心情を探り出す。

『指揮官たちの特攻・幸福は花びらのごとく』



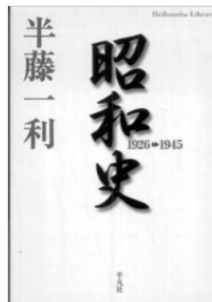
城山 三郎【著】新潮文庫（2004/07 発売）
 : 同期で海軍に入り、奇しくも最初の特攻隊長と最後の特攻隊長となった関行男と中津留達雄。この二人に焦点を当て、その生き様と死に様にせまる。自分も海軍特攻隊で訓練を受けた著者が、残された家族や関係者への丁寧な取材と資料でおくる好著。

『落日燃ゆ』



城山 三郎【著】新潮社（2009/10 発売）
 : 東京裁判で、A 級戦犯として死刑を宣告されたのは七人。その中に、ただ一人の文官・広田弘毅が含まれていた。ひと言も弁明せずに死を受け入れた広田の生涯を克明に記した一冊。
 吉川英治文学賞、毎日出版文化賞受賞。

『昭和史』



半藤 一利【著】平凡社（2009/06 発売）
 : 学校ではおざなりになっている昭和時代を、著者が講義をするように展開。特定の歴史観や思想によらず、「事実」を綴る内容は、歴史が苦手な人にもわかりやすく、また文体も読みやすい。戦前編と戦後編の二冊本。

『人間の条件』



五味川 純平【著】三一書房

：才能を認められ、徴兵を免れた梶は満州での工事現場で中国人をつかう立場になる。しかし暴力でいうことを聞かせようする他の日本人と合わず、結局前線へと送り出される。終戦後、シベリア抑留のさなか、それまで戦争も殺人であるとしていた梶は、あることで人を殺めてしまう……。残酷なリアリズムで戦争を描き出した長編。

経済小説のおもしろさ

『もう、きみには頼まない・石坂泰三の世界』



城山 三郎【著】文春文庫 (1998/06 発売)

：第一生命、東芝をトップ企業にし、経団連会長として日本復興をなしとげた実業家・石坂泰三。筋を通し、何事にもおもねらない生き方をした、「財界総理」の異名をとる人物を、城山三郎が描く。

『官僚たちの夏』



城山 三郎【著】新潮社 (2002/03 発売)

：1960年代の高度経済成長期。通産省を舞台に、「ミスター通産省」と呼ばれる風越を中心として、私欲ではなく日本の発展を真剣に考えた官僚たちの物語。はかりしれない苦悩と活躍はビジネスマン必読の書。

『海賊とよばれた男』



百田 尚樹【著】講談社 (2014/07 発売)

：出光興産を作った出光佐三をモデルにした小説。どんなに経営が苦しくともリストラは一切せず、戦前、戦前の混乱期を持ち前の知恵と度胸で渡り歩いた男、国岡鐵造。全てを失っても、逆強に立ち向かっていく男の闘志を熱い筆致で描き出す。海賊と呼ばれる所以は、その商売方法だけだったのか。

2013年、本屋大賞受賞作品。紀伊国屋書店 第一回ベストセラー大賞。

『華麗なる一族』



山崎 豊子【著】新潮社（2003/08 発売）

：銀行合併に絡む家族の愛憎劇が繰り広げられる。「小が大を喰う」ことで生き残った銀行家の万俣大介には、どうしても相容れない長男・鉄平の存在があった。しかし、この長男の死が後悔の波となって大介を襲うことになる…。

『白い巨塔』



山崎 豊子【著】新潮社（2002/11 発売）

：財前五郎と里見脩二-----。同期の医師である二人だったが、生き方はまるで違った。一方は野心を胸に、大学病院を掌握しようとし、一方は患者に寄り添い、命を助けようとした。しかし、その野心も崩れ去るときがくる。何度も映像化された、医学界の腐敗と希望を描く社会派小説。

『不毛地帯』



山崎 豊子【著】新潮社（2009/03 発売）

：シベリアで抑留されたのち、帰国した壹岐は、戦時中に培った参謀力を買われて、とある商社に入社する。いままで軍に仕えていた壹岐にとっては右も左もわからない世界であったが、持ち前の精神力の強さで、中東の石油発掘にも手を広げていく。元伊藤忠商事会長の瀬島龍三がモデルといわれる主人公の不屈の姿勢が力強く描かれている。

『約束の海』



山崎 豊子【著】新潮社（2014/02 発売）

：2013年から2014年まで週刊誌に連載された、著者の絶筆作品。海上自衛隊潜水艦部隊に所属する花巻朔太郎の乗る潜水艦と釣り船が衝突した。海難事件として大きくマスコミに取り上げられ、好奇の目にさらされ、苦悩する朔太郎。彼の父親は、あの真珠湾攻撃に参加した海軍軍人であった。同じ海で生きる

父と息子の関係を軸に、戦争と平和が語られる。未完のため、著者の創作ノートを付随して出版された。

『道をひらく』



松下 幸之助【著】PHP 研究所 (1991/01 発売)
：長く「PHP」誌に連載されたエッセイを一冊にまとめたもの。累計 500 万部を超えるロングセラー。素直に生きること、謙虚さを大切にすることを主題に、11 項目、121 編を掲載。ビジネスマンだけでなく、普段の生活の中にも取り入れられる言葉が、琴線に触れる。

* 史実と虚構の狭間 *

『昭和史発掘』



松本 清張【著】文春文庫 (2005/03 発売)
：松本清張によるノンフィクション作品。陸軍機密費問題から二・二六事件までの、いわゆる「昭和の転換期」が収録されている。多数

の史料と取材、作家ならではの着眼点が味わえる。

『ゼロの焦点』



松本 清張【著】新潮社 (2008/12 発売)

：新婚の禎子。夫の憲一は仕事の引き継ぎで金沢へ行くが、その後、行方不明になったとの連絡が入る。禎子は行方を追い、金沢へ。そこには戦後まもない日本における、女性たちの過去が関係していた……。本格的な推理小説。

『黒革の手帖』



松本 清張【著】新潮社 (2008/12 発売)

：銀行勤めの地味な OL・原口元子は、その立場を利用して、銀行の金を横領することに成功。これを元手にして銀座のクラブを開く。そして自らの野望のために、次々と罠をしかけていく。衝撃的なラストが読者を驚かせる。

『張込み』



松本 清張【著】新潮社（2001/08 発売）

：目黒で起こった強盗殺人の犯人が捕まった。共犯とされる男を追って、九州に住む元恋人を張り込んだ刑事の柚木。平凡な主婦になっていた女が、その時見せた顔とは。静かな描写の中に個々の人物像が光る佳作。

『点と線』



松本 清張【著】新潮社（2003/05 発売）

：福岡市香椎の海岸で発見された、男女の心中死体。彼等は本当に心中だったのか。老刑事の鳥飼はその死を不審に感じ、東京から来た警視庁の三原とともに、謎を追っていく。わずか「四分のトリック」とは？ ミステリー長編。

時代の転換期から歴史を繙く

『関ヶ原』



司馬 遼太郎【著】新潮社（2003/09 発売）

：日本史上に名高い関ヶ原の戦いを題材に、石田三成の生涯を描いた長編歴史小説。亡き秀吉の言葉を守ろうとする三成と、同じ家臣でありながら反三成となった加藤清正ら。虎視眈々と天下を狙う家康など、魅力あふれる人物たちが織りなす作品。

『峠』



司馬 遼太郎【著】新潮社（2003/10 発売）

：幕末の転換期、中立国であろうとした長岡藩は、その思いとはうらはらに旧幕府軍として戦うことになる。家老に抜擢された河井継之助は、自らの生き方を変え、厳しい北越戦争に臨む。最期まで藩を守ろうとした河井の生涯を描く。

『燃えよ剣』



司馬 遼太郎【著】新潮社（2007/01 発売）
 : 多摩の百姓だった土方歳三は、剣で身を立てることを夢見て仲間と上洛、新撰組を結成する。いかに強い剣客集団を作るかに情熱を燃やし、最期まで「喧嘩師」として矜持を誇りにした男が激動の時代を駆け抜ける。

『竜馬がゆく』



司馬 遼太郎【著】文芸春秋（1998/09 発売）
 : 坂本竜馬の人生を、丁寧に描いた長編歴史小説。土佐で生まれた竜馬が、多くの出会いと別れを経験し、視野を広げて日本の行く末を展望していく姿に、引き込まれる。多くの竜馬ファンを生み出した名著。

『十一番目の志士』

司馬 遼太郎【著】文芸春秋（2009/02 発売）
 : 長州藩士であり二刀流の遣い手・天堂晋助。高杉晋作に出会ったために、長州藩の暗殺者



に仕立てられ、京都、大阪でその腕を振るい始める。天堂晋助は架空の人物だが、実在のように錯覚させられる、司馬遼太郎の手腕は見事。

『新徴組』



佐賀 賢一【著】新潮社（2013/05 発売）
 : 沖田総司の義兄にあたる沖田林太郎は、幕府が創設した新徴組に参加する。江戸の取り締まりをしていた新徴組はのちに庄内藩の預かりとなり、戊辰戦争では奥州・庄内へ入り奮戦する。だが時代の波には抗えなかった。林太郎とその上役・酒井玄番を描く。

『坂の上の雲』



司馬 遼太郎【著】文芸春秋（1999/01 発売）
 : 陸軍の秋山好古、海軍の秋山真之と俳句で名を成す正岡子規、同郷の彼等の青春時代と日露戦争の激戦を描く。日本海海戦の迫力は見事としかいいようのない筆致。乃木希典、児玉源太郎など個性豊かな人物像が楽しめる。

船に乗せられるが、晴れやかな顔の喜助に、目付の羽田は訝しみ理由を尋ねる。兄を思う弟と安楽死をかなえる兄の物語。

『それから』

『阿部一族・舞姫』



森 鷗外【著】新潮社（2006/04 発売）
 : ドイツ留学中に踊り子のエリスと恋仲になった官僚の太田豊太郎。エリスとの生活を決心するが、友人・相沢の尽力によって日本へ帰国することになる。豊太郎は結局、「恋」よりも「出世」を選んだのだ…。鷗外の留学体験が生きる短編。



夏目 漱石【著】文芸春秋（2011/07 発売）
 : 三十歳になっても無職の長井代助は、親に金を出してもらって書生らと住んでいた。かつての友人・平岡と三千代夫妻と再会したとき、代助の中に三千代への恋と自我が生まれる。『三四郎』『門』と並び、漱石の前期三部作の一つ。

時代小説によって知る日本人の魅力
 『壬生義士伝』

『山椒大夫・高瀬舟』



森 鷗外【著】新潮社（2006/06 発売）
 : 江戸時代、京都の罪人は刑が決まると、高瀬川から船で大阪にゆく。弟殺しの喜助もまた、



浅田 次郎【著】文芸春秋（2002/09 発売）
 : 新選組の中であって、離れてすむ家族のために働き、仕送りをする盛岡藩出身の吉村貫一郎。守銭奴とさげすまれても、家族を守ることが彼の「義」であった。幕末にあってひた

すらに妻や子を思った男の生き様。柴田錬三郎賞受賞。

『輪違屋糸里』



浅田 次郎【著】文芸春秋（2007/03 発売）
：京都・島原の輪違屋にいる糸里や新選組初代局長・芹沢鴨の愛人であるお梅、新撰組寄宿先のおまさなど、女性たちの目を通して展開する、新撰組黎明期を描いた作品。からみあう愛憎が従来の新選組ものと一線を画している。

『一路』



浅田 次郎【著】中央公論新社（2015/04 発売）
：父が亡くなり、急遽江戸から国許へ戻った小野寺一路は、その父の跡を継いで参勤交代を仕切ることになった。しかしそのしきたりを知らない一路の、頼みの綱は残された冊子「行軍録」のみ。失敗すれば家は断絶というスリリングな状況を、一気に読ませる。

『蝉しぐれ』



藤沢 周平【著】文芸春秋（1991/07 発売）
：海坂藩の牧文四郎は、父親の切腹によって、不幸な境遇に身を落としていた。のちにその剣術の腕を見込まれ家禄を復活するに至るが、今度はかつて淡い恋心を抱いたおふくに絡む事件に関わっていくことになる。愚直に生きる男の風情がしっとり描かれる。

『等伯』



安部 龍太郎【著】日本経済新聞社（2012/09 発売）
：狩野派が絵画の頂点にいた安土桃山時代、妻子を連れて流浪し、なお絵への情熱を燃やす長谷川等伯。等伯は狩野派に対抗する派閥を作るため、狩野永徳と襖絵勝負に挑む。のし上がろうとする等伯の人生を鮮烈に描く長編。直木賞受賞。

『蜩ノ記』



葉室 麟【著】祥伝社（2011/10 発売）
 : 城内で刃傷騒ぎを起こした壇野庄三郎は切腹のかわりに、とある村に幽閉中の戸田秋谷の監視をすることになった。戸田は不義密通の罪で、数年後の切腹と家譜編纂を命じられていた。庄三郎は秋谷の人柄に触れ、その無実を確信するようになる。
 直木賞受賞作品。

* 紀伊国屋書店出版部 *

『愛するということ』



エーリッヒ・フロム【著】紀伊国屋書店(1991/03 発売)
 : 愛には技術が必要か ---。兄弟愛、異性愛、母性愛など、愛の形はさまざま。フロムは、そうした愛する技術は、先天的なものではなく、習得することで得ることが出来ると明言する。新フロイト派の著者が愛について繙く。

『正義論』



ジョン・ロールズ【著】紀伊国屋書店（2010/11 発売）
 : 「正義」とはなにか。その正当性を論じた哲学書。社会契約論も取り入れて、正義の原理を展開している。政治哲学の基礎を確立した名著。初版は1979年に出版され、2010年に改訳版を刊行。



懇親パーティー

平成27年6月9日(火) 16:00~17:50 第一ホテル東京5階「ラ・ローズII」

日工販第46回通常総会、記念講演終了後、来賓及び会員166名が出席し懇親パーティーが開催された。

宇佐美専務理事の司会のもと、新たに選任された会長の富田理事(株)トミタ 取締役社長)、及び副会長の高林理事(丸紅マシンツールズ(株) 取締役社長)、池浦理事(株)不二 取締役社長)、赤澤理事(赤澤機械(株) 取締役社長)が紹介され、富田新会長より就任の挨拶があり、次いで経済産業省製造産業局産業機械課課長 佐脇紀代志氏、並びに(一社)日本工作機械工業会会長 花木義麿氏より来賓のご挨拶を賜った。

また、新入会員のアルビテクノロジー(株)(東部地区正会員)、(株)小林機械(東部地区正会員)、(株)ニッツマシナリー(西部地区正会員)、浜名エンジニアリング(株)(メーカー賛助会員)、東信電気(株)(メーカー賛助会員)の紹介がありご挨拶をいただいた。

続いて日本工作機械輸入協会会長 中川貴夫氏よりご挨拶を賜り、同氏の乾杯のご発声で一同乾杯し、懇談が繰り広げられた。

定刻になり高林副会長より中締めが一本締めで行われた。





◇来賓ご挨拶◇

経済産業省産業製造局産業機械課課長
佐 脇 紀 代 志 様

経済産業省産業機械課課長の佐脇でございます。日頃より大変お世話になっております。本日は日本工作機械販売協会第46回通常総会の開催誠にありがとうございます。また懇親会にお招きいただき大変光栄でございます。先程会長からお話を伺いまして今回役員の改選とのことで上田前会長他退任された方々大変お疲れ様でございました。また新しい会長他ご新任の皆様方におかれましては私どもも行政としっかりご相談になられ私どもが少しでもお役に立てることをしたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。会長からも非常に景気の良い話がありまして、先程日工会さんが発表されました速報値が伸びているとのことで心強く思っております。非常に堅調でございまして日工販の会員の皆様方におかれては、しばらく設備投資を控えておられた方もうまく対応いただき、しっかりお金を使っていただけという時代に来たのかなと思っております。まだまだ日本の設備投資は更新投資需要も含めてまだまだ余力があるという気がしております。また円安為替の正常化と申しますか、より合理的な判断の上で国内の投資とものづくり基盤の充実ということも感じております。日本の工作機械は非常に高性能でさまざまなものづくりの産業の実力を高めるポテンシャルに十分でございます。工作機械システム全般にうまみと申しますか使いこなす技と申しますかエンジニアリングをしていただき、人材育成についても取り組みがなされ、日本のものづくり産業の実力をさらに新しいステージに高めるために非常



にご活躍いただく時期ではないかと思っております。特に最近は電子機械、ロボットとかいろいろ設備投資の活性化をさせるために施策を生み出しています。より高度な設備になりますと現場のユーザーにつきましてとつきにくい所があるかと思いますが、それに応えてユーザーの方々の立場に立って良くお使いいただけるようにしっかりされているのは日工販会員各社でございますので、これからはますます活躍されるチャンスも広がると思います。アベノミクスの第3の矢、とりわけ地方創生は年初来全国津々浦々に成長の果実を提供するのが政権全体の目標でありますので、気をゆるめることなくしっかりやりながら皆様方の全国における商売の場が広がるよう厚みのある努力をしていきたいと思っております。本年度の日工販皆様の活動が充実されることを祈念するとともに、本日お集まりの皆様方のご健勝をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

◇来賓ご挨拶◇

(一社) 日本工作機械工業会会長
花 木 義 磨 様

本日は日工販さんの盛大なる総会後の懇親パーティーにお招きいただき誠にありがとうございます。日工会を代表いたしまして、ひとことご挨拶を述べさせていただきます。平素は私ども工作機械メーカーの製品の販売に格別なるご尽力をいただき誠にありがとうございます。この場をお借りし厚くお礼申し上げます。先ずもって富田様には日工販の新会長ご就任誠におめでとうございます。富田新会長のもと日工販さんがますますご発展されますようお祈り申し上げます。上田前会長様におかれましては4年にわたりまして日工販さんの販売活動の活性化に向けて大変お力をお尽くしになられました。そしてまた製販の協力関係とお客様へのサービス向上において着実に成果をあげられてこられました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。最近の工作機械の状況を少しお話させていただきます。本日3時に発表いたしました日工会5月の受注の速報値でございますが、前年同月比15%増の1,385億円でございます。1月から5月までの日工会の受注額累計は6,731億円となりまして、本年の日工会の受注見通しとしております1兆5,500億円に対しまして進捗が43%でございます。大変順調に進んでおります。過去最高が2007年の1兆5900億円でございますが、それに迫るか超過するかの状況で堅調に工作機械の受注は進んでいるところでございます。先日ガードナー社が世界の工作機械生産額を発表いたしました。日本がドイツと入れ替わりまして再び世界第二位の生産額を達成する国になったわけでございます。2014年の日工会の外需でございます



が、1兆130億円となりまして工作機械史上初めて外需が1兆円を超えました。日本の工作機械は世界において高いプレゼンスを持って進展してきております。昨年の内需につきましても堅調に推移いたしました。前年比で24%増の4,964億円でありました。順調な回復軌道を歩んでおります。円安局面となりまして自動車とか機械産業において企業業績が大変好調になってまいりました。収益も改善されてまいりました。そういったことから国内での生産増強とか、また生産性向上に向けて老朽設備の更新また高度化更新が大変活発になってきているところでございます。こういった内需の動向に関しまして、昨年の秋にあるアナリストと議論いたしました。国内市場は踊り場を迎えており2014年末から今年にかけては停滞するという見方でした。私は大いに反論したわけですが、結果といたしまして私の見方が当たりまして内需は大変堅調に推移いたしております。最近では著名なアナリストも内需は当分堅調に推移するという見方を示しているようでございます。国内の需要が堅調に推移するには、もう一つ政府の後押しがございます。日工会といたしましては設備投資の減税に向けての証

明書発行をいたしております。証明書発行は昨年の春頃からやってきておりますが、最近までで1万6千件の証明書を発行いたしております。そしてまた省エネ補助金でございますがこちらの方も日工会が発行いたしておりますが、今年の3月中旬から始めまして4月22日で打ち切られたわけでありましたが、この証明書も1万2,400件もの高い証明書を発行いたしております。こういった件数からもわかりますように税制、減税措置、補助金が国内の工作機械の需要喚起に大きな力になっております。これからこういった減税措置、補助金が具体的な受注となって出てきますので楽しみにいたしているところでございます。今後内需が更に力強さを増してくるのではないかと考えております。日工販さんにおかれましても確実に捕らえていただきまして受注増に繋げていただきますようよろしくお願いいたします。ドイツを始めとして世界各国におきましても新しいものづくりを模索しているところでございます。日本におきましても政府主導でロボット新戦略が進められております。私ども工作機械におきましても工作機械とロボットそしてネットワーク等で連結し新たな進化が期待されております。私ども日工会いたしましては世界の制度面における新しい潮流

に対しまして近々加工システム研究開発機構を発足させます。この機構におきましては産、官、学が連携をいたしまして世界最高の次世代型工作機械の研究開発を進めてまいります。そして日本主導の規格に注力してまいり所存でございます。私どもとしましては製品としての技術を一段と高度化し付加価値を高めてまいりまして世界のものづくりへの新たな潮流を作っている所存でございます。工作機械に限りませんが製造と販売は車の両輪でございます。販売のプロでいらっしゃる皆様方は、お客様から愛されてこれお客様からの注文、さまざまなご要求はメーカーにとりまして貴重なこの上ない情報でございます。また日工販さんが長年にわたって築き上げてこられました販売のノウハウこれらなくして私どもの業界はあり得ないと思います。日本のみならず世界中に私どもの工作機械を供給していくためには日工販さんのお力が不可欠でございます。何とぞ今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。最後になりますが日工販さんのますますのご発展と、ご参集の皆様方のますますのご健勝を心よりご祈念申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



◇来賓ご挨拶・乾杯◇

日本工作機械輸入協会会長
中川 貴夫 様

ただ今ご紹介いただきました日本工作機械輸入協会会長をしております中川でございます。本日はお招きいただきましてありがとうございます。はなはだ僣越ではございますが乾杯の音頭をとらせていただきます。私は工作機械の販売に従事しまして30年以上でございますが、輸入協会の会長に就任いたしましたのは先月でございます、全くよちよち歩きの状態でございます。何卒皆様のご支援ご鞭撻をお願い申し上げるしいでございます。日本工作機械輸入協会と申しますと超一流の特徴ある工作機械を世界から日本の皆様にお届けするそのお手伝いという社会的使命があります。業界団体の中ではスパイス的な存在ではないかと思っておりますが、グローバル化時代の中で日本人のものづくりのお役に立てるといことで日工販の皆様方と連携をとりしっかりやっ



きたいと思っているしいでございます。何卒ご支援の程お願い申し上げます。

それでは乾杯に入らせていただきます。日工販の皆様、関係者の皆様、そして本日はご列席の皆様のご健勝とますますのご発展を祈念いたしまして、乾杯！





平成27年度 日工販役員 (役職名は6月9日現在)

協会役職	会社名	役職名	氏名
会長	(株) ト ミ タ	取締役社長	富田 薫
副会長	丸紅マシンツールズ(株)	取締役社長	高林 利男
副会長	(株) 不 二	取締役社長	池浦 捷行
副会長	赤澤機械(株)	取締役社長	赤澤 正道
専務理事			宇佐美 浩
理事	伊藤忠マシンテクノス(株)	取締役工機部門長	丹波 優
理事	(株) 兼 松 K G K	常務取締役FS本部長	布施 忠文
理事	住友商事マシネックス(株)	東京産業機械部長	山田 達也
理事	双日マシナリー(株)	顧問	中島 和彦
理事	(株) 豊通マシナリー	常務取締役	和田 浩一
理事	(株) N a I T O	取締役社長	坂井 俊司
理事	(株) ナチ常盤	取締役社長	菅原 精則
理事	三井物産マシンテック(株)	取締役社長	篠原 修
理事	三菱商事テクノス(株)	取締役社長(6月18日就任)	中野 智
理事	ユアサ商事(株)	常務取締役工業マーケット事業本部長	田村 博之
理事	(株) 井 高	取締役社長	高田 研至
理事	三栄商事(株)	取締役社長	後藤 正幸
理事	サンコー商事(株)	取締役社長	小島 徹
理事	三立興産(株)	取締役社長	加藤 斉
理事	(株) 東 陽	取締役社長	羽賀 象二郎
理事	山下機械(株)	取締役会長	山下 隆蔵
理事	伊吹産業(株)	取締役社長	横幕 武夫
理事	植田機械(株)	取締役社長	植田 修平
理事	京華産業(株)	取締役	菅井 利雄
理事	(株) ジーネット	常務取締役営業本部長	寺田 慎一郎
理事	宮脇機械プラント(株)	取締役社長	宮脇 隆一郎
監事	(株) テヅカ	取締役社長	三橋 誠
監事	下野機械(株)	取締役社長	下野 信重
監事	(株) 山 善	常務取締役上席執行役員機械事業部事業部長	関 矢 信雄

委員会委員長

委員会	会社名	役職名	氏名
政策委員会	(株) ト ミ タ	取締役社長	富田 薫
総務委員会	三井物産マシンテック(株)	取締役社長	篠原 修
教育委員会	(株) 不 二	取締役社長	池浦 捷行
調査広報委員会	伊藤忠マシンテクノス(株)	取締役工機部門長	丹波 優
国際委員会	ユアサ商事(株)	常務取締役工業マーケット事業本部長	田村 博之
東部地区委員会	双日マシナリー(株)	顧問	中島 和彦
中部地区委員会	(株) 井 高	取締役社長	高田 研至
西部地区委員会	植田機械(株)	取締役社長	植田 修平



会長兼政策委員長
富田 薫



副会長
高林 利男



副会長兼教育委員長
池浦 捷行



副会長
赤澤 正道



専務理事
宇佐 美浩



調査広報委員長
丹波 優



理事
布施 忠文



理事
山田 達也



東部地区委員長
中島 和彦



理事
和田 浩一



理事
坂井 俊司



理事
菅原 精則



総務委員長
篠原 修



理事
中野 智



国際委員長
田村 博之



中部地区委員長
高田 研至



理事
後藤 正幸



理事
小島 徹



理事
加藤 斉



理事
羽賀 象二郎



理事
山下 隆蔵



理事
横幕 武夫



西部地区委員長
植田 修平



理事
菅井 利雄



理事
寺田 慎一郎



理事
宮脇 隆一郎



監事
三橋 誠



監事
下野 信重



監事
関矢 信雄

分かりやすい話題の技術

Inteligible Recent Technics ★

No.144

進化した新型CNC装置 「MAZATROL SmoothX」の新機能



ヤマザキマザック(株)
営業技術部 先進加工技術グループ
黒倉 素

1.はじめに

昨年2014年秋に発表した新型CNC装置「MAZATROL SmoothX」(図1)は、従来のMAZATROL CNC装置の機能を継承しつつ、タッチパネルを利用するGUI(グラフィカル・ユーザ・インターフェース)を融合させ、操作性を飛躍的に向上させたMAZATROL第7世代とな

る。さらに、ハードウェアの強化に加えて5軸加工性能の強化や新機能の追加をしている。本稿では、操作性を向上させた機能として「QUICK MAZATROL」と「QUICK EIA」および、5軸加工の新機能として「可変加速度制御」、「コーナ滑らか制御」と「スムーズ加工設定」を紹介する。



図1 MAZATROL SmoothX 外観

2. 新機能の紹介

「QUICK MAZATROL」(図2)はプログラム画面に3Dモデルを取り込み表示することが可能であり、プログラミングに応じてリアルタイムに更新される。加工形状や工程を確認しながらプログラミングすることでプログラミングミスを防止するとともにプログラミング時間を大幅に短縮することができる。また、3DCADデータから製品形状データを直接取得し、簡単にプログラミングすることも可能である。「QUICK EIA」(図3)はプログラム画面にツールパスを表示でき、ツールパスをタッチすれば、EIAプログラムの該当部分へ瞬時に移動し、プログラムの内容を確認することが可能である。

「可変加速度制御」は各軸の能力を最大限に引き出す制御である。一般的な機械の送り軸制御においては一番加速度の低い軸に全軸の加速度を合わせていたが、可変加速度制御では各軸

の移動量に合わせた最適な加速度制御を行う。特に、同時5軸制御加工において、直線軸と回転軸の加速度制御を最適に行うことができる為、加工時間短縮、生産性向上に寄与することが大きい。「コーナ滑らか制御」は機械を必要以上に減速させずに滑らかなコーナリング制御により、加工時間短縮と滑らかな仕上げ面を実現する機能である。さらに、「スムーズ加工設定」は様々な業種、アプリケーション毎に最適なパラメータ設定を切り替え可能である。また、個々のパラメータは編集ができ、ノウハウを蓄積することで、加工能率向上を実現する。「SmoothX」はユーザ自身で直感的、視覚的に最適な加工設定を選択することが可能であり、簡単操作で加工面品位の向上と加工時間短縮による生産性向上を図ることができる。

3. 実際の加工例と生産性の向上

SmoothX搭載の複合加工機、INTEGREX i-100によるタービンブレード同時5軸加工の検証では、従来機能に加えて新機能を有効に使用することで、従来機種に比べ加工時間を29%削減という結果が出ている(図4)。ハードウェア/ソフトウェアの向上に加え、「スムーズ加工設定」を使って、機械のパフォーマンスを最大限に引き出している。以上のことから、SmoothXの新機能は、微小線分加工においては、10~30%、通常の単純加工でも大幅な生産性向上が期待できる。

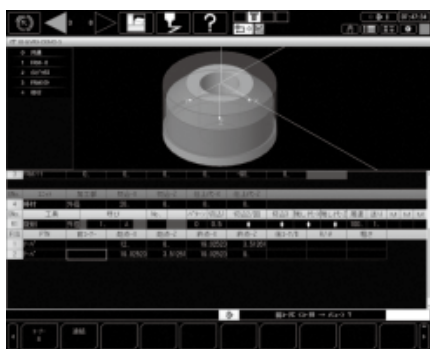


図2 QUICK MAZATROL画面

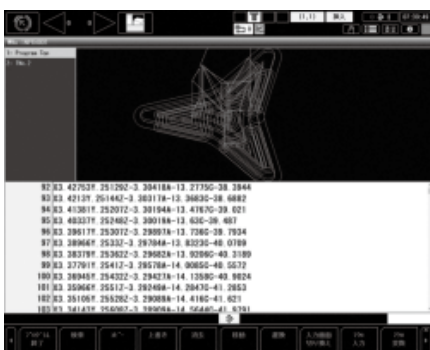


図3 QUICK EIA画面



図4 タービンブレードワーク(Ti-6AL-4V)

「物語 イタリアの歴史 I&II」

藤沢道郎 著



(株)東陽
取締役社長

羽賀象二郎

最初に、私は観光などで行く国としてはイタリアが大好きです。

そのイタリアについて、ローマ時代から近代に到るまでの歴史の登場人物の物語を軸に描いたものです。

イタリアはローマ帝国発祥の地であり、ローマ滅亡後も政治・経済・文化・宗教などヨーロッパ社会の中心であり続けました。それだけに数多くの都市国家（領域国家ではなく、かつ世襲国家でもないケースが多い）が主体となって非常にたくさんの利害が絡み合い、ローマ教皇やイタリア内の実力者たち、フランスやドイツなど《外国》の思惑がぶつかり合って、結果としてイタリア国家統一は19世紀後半まで成し遂げられず、特にローマ教皇という最高の宗教指導者が国家運営に強い影響力を及ぼさなくなるのは20世紀半ばでした。

それだけに歴史の主軸も色々と変遷します。ローマは常に絡むのですが、ヴェネチアやフィレンツェ、ナポリ、シチリア、ミラノ、トリノなどなど本当にイタリアの東西南北そこら中に歴史の主人公たちが現れていく。それを描いていった本です。それぞれが本当に当時のヨーロッパ社会を動かし、文化や芸術でもリードしていった人たちばかりです。逆に言うと、教皇は勿論他の人たちも《世界》を舞台にしている《イタリア》という枠に捉われていないが故に《イタリア》という名前の求心力が失われ、大航海時代以降、政治経済の重点が地中海世界から離れていくと、徐々に歴史の主役の座から引いていくようになっていきます。この過程も本の中では描かれています。

近代に入り、政治や経済の世界では統一が遅れ地方分裂のハンディを負い、大規模資本や技術の集積が出来なかったイタリアは英・仏・独やベネルクスに比べ遅れている国になり、今日ではEUの問題国の一つに数えられてしまう状態ですが、物語の舞台としては滋味豊かで非常に魅力溢れる国です。それ故に観光や食事、ファッションやショッピングなど心を和やかに、心身を癒してくれる要素に満ち溢れています。

この本はショートストーリーに終始していますので、登場人物の誰かに興味を持ち、あるいは時代背景に惹かれてより深く知りたい、と思うなら、他にも色々な本があります。絵画や音楽であれば直接作品を楽しむことも出来ます。それがたくさんあるのもイタリアの魅力に古今東西多くの人々が魅せられた証拠です。

私どもの業界でも、イタリア製の機械や工具はなかなか興味深いものが多いです。EMOもフランス（パリ）開催はやめてもイタリア（ミラノ）開催は続いています（今年も行われます）。結構、国民性が出ているものもあるかも知れません。

イタリアが好きの方もそうでない方も、興味がおありならイタリアを知る入口としてこの本を読んでみるのも良いかと思います。

工作機械と私



丸紅マシンツールズ(株)
設備1部 営業1課長
上野 貴史

私は、現在、大手メーカーの営業担当をさせて頂いています。まずは、私事では御座いますが今日に至るまでの経緯を簡単に述べさせて頂きます。

前職は、機械設備メーカーで働いていました。入社当時は先輩方の技術に只々驚きの毎日でした。なぜかと言うと配属先が製造部門で設備を製作するところでした。特殊な技術、例えば、溶接技術、加工技術、電気技術、特殊組立て技術といった技術を持ったスペシャリスト（職人）の中で日々を過ごしてまいりましたが、ある日、先輩に、「好きこそもの上手なれ」という言葉を教えて頂きました。

幼少の頃から機械が好きで、実家が農家だったので農耕用の機械の運転を父親から教わり操作していたことを思い出しました。機械的に動くものに興味があり農耕用だけではなく建設用機械や、大型特殊車両免許も時間を作って勉強し免許を取得しました。

先輩から教えて頂いた言葉の意味を自分なりに理解し始め、その後の仕事に対する自分の取り組み姿勢に変化が起これたと思います。機械構造に興味があり且つ、その製造工程に携わっているという自分に自信を感じる様になりました。「習うより慣れる」の精神で先輩方の技術を習得し、その後、現在に至るきっかけとなる営業に配属されました。営業という言葉に疎遠の世界で日々を過ごしてきた私に営業が務まるかが不安でしたが、製造部門で経験させて頂いた技術をもとに、お客様の「かゆいところに手が届く」営業マンを目指し営業活動して参りました。

その後、当社に入社し、引き続き、お客様の「かゆいところに手が届く」営業マンのスタイルで頑張っています。機械設備メーカー勤務が長かったため、当社入社後、初めて見る設備などが数多くあり展示会などに出席し、色々な機械を勉強しています。マシニングセンターと言えば3軸と思っていたのですが、5軸の複合加工機があり、旋盤の複合加工機を実際に見学した時には工作機械技術の奥深さを知りました。今後も積極的に工作機械展示会には出席し、新しい技術を搭載した設備を見学し、お客様のお役に立てればと思っております。

お客様には色々なタイプがあり、業種、規模、経営方針、経営状態など細分化すれば多くのパターンに分類されるのではないかと思います。そのような様々なお客様との多種多様の商談を成約にまで導くのは簡単なことではありませんが、契約を頂いた時の喜びは、なんとも言えない感動が有る様に思います。これからも多くの新しい技術に少しでも携われる様に努力し、多くのお客様に設備を紹介し、喜んで頂ける様に営業活動を邁進していきたいと思っております。

最後になりましたが、先輩から頂いた言葉を忘れる事無く、また後輩には工作機械とは…と、お客様に上手く説明できる営業マンになれるよう導いていければと思っております。

議事録から

第255回 定例理事会

日 時：5月15日(金) 15:00~17:00

場 所：名古屋安保ホール101会議室

出席者：会長、副会長3名、専務理事、
理事21名、事務局1名

[付議事項]

(1) 総会議案の件

①平成26年度決算見込み

専務理事より下記説明、第1号議案として提出承認。

一般会計：

期初予算に対し正会員2社の入会があり会費増。賃貸料では3%消費税分を見込んでいなかったためその分増加。

教育事業特別会計：

予算時見込んだ受講生数とならず受講料が不足した。支出の主な点では一般会計同様消費税3%増加により賃貸料、消費税が増加。受講生減によりマイナスとなった。

②平成27年度予算

専務理事より下記説明、第2号議案として承認。

一般会計：

事業補助費増、特に地区委員会予算増を盛り込む。

教育事業特別会計：

昨年度まで実施した向上研修は行わないこととし、コスト減となりマイナスを回避。

③定款改訂の件

既に1月8日開催の定例理事会にて承認済みにて第3号議案として承認。

④会長・副会長候補の件

会長より次期会長・副会長候補として説明があり下記候補を理事会として推薦する第4号議案を承認。

会長 富田 薫

副会長 高林 利男

副会長 池浦 捷行

副会長 赤澤 正道

(2) 正会員入会申請

西部地区正会員として下記入会申請があった。審議の結果入会が承認された。

(株)ニッツマシナリー

京都府京田辺市田辺狐川40-95

工作機械販売及び鍛圧機械販売

(3) 協賛名義使用について

9月16日より3日間東京ビッグサイトにて開催される『測定計測展』に関して主催者である日本光学測定器工業会及び日本精密測定機器工業会より協賛名義使用許可申請があった。審議の結果承認された。

(4) 協賛団体について

電子請求によりペーパーレス活動を推進している(一社)エコマートより協賛団体としての参加申請があった。審議の結果参加が承認された。

[報告事項]**(1) 流通動態調査平成27年3月結果及び日工会4月短観**

専務理事より報告。流通動態調査3月結果により平成26年度のまとめとして工作機械が前年度比115.3%、広義の工作機械が117.5%といずれも増加している。特に3月の受注は久しぶりに工作機械で360億円と300億円を超え、日工会も内需が8カ月ぶりに500億円を超えている。流通動態調査2では前回1月と今回4月の結果比較では全般的4月が良くなっている。日工会短観4月も全般的には前月より良くなっている。

(2) 委員会報告**① 中部地区委員会：正・副会員懇談会**

高田委員長より報告。3月17日に開催。20社21名が参加。状況はリーマンショック前への戻り率は80～100%越えと好調な会員が多い。問題点は海外比率が高くなり人材の確保が悩みで特に海外語学の問題があり大きな課題となっている。また海外で納入した機械のトラブルも多く手間がかかり売上げが伸びたが利益は伸びないといったところが多かった。

② 西部地区委員会：会員情報交歓会

赤澤委員長より報告。3月17日に開催。27社49名が参加。情報交歓会は年に一度、正会員、賛助会員（工作機械メーカー、リース会社）に集まって頂きますが、今回は2014年度の現況についてお聞きした。正会員、工作機械メーカーは目標達成あるいは増加というところが多いが、リース会社はものづくり補助金絡みでは苦戦したという話だった。情報交歓会後には懇親会を開催した。

③ 教育委員会

専務理事より報告。3月24日に開催。昨年度の決算報告。

平成27年度の方針について討議。向上研修会については昨年度まで3年間実施しこれewithとまず完了として27年度よりは基礎、SE、更新各講座をより充実させることにした。平成27年度予算の重要な要素である受講料収入の基となる受講生については次の通り決めた。基礎講座：120名（既に定員数を満たしており、ウエイティング者あり）

SE講座：130名

更新研修：80名

今回の教育委員会は基礎講座でお世話になっている日本工業大学にて開催した。同大学の工業技術博物館では300台ほどの工作機械が動態保存され、同大学学生用実習室には最新鋭の工作機械があり、また受講生には実習機がありそれら全てを基礎講座で活用する。

(3) (一社) 日本鍛圧機械工業会との交流会

専務理事より5月末頃に全正会員宛て発信する案内の内容の説明があった。

東部地区委員会

日 時：6月25日(木) 11:00~12:15

場 所：双日マシナリー(株)会議室

出席者：委員長、副委員長2名、委員3名、
事務局2名

行事の具体的内容・開催時期について検討、下記の通り決定した。

1) 情報交換会

8月25日(火) 15:00~17:00

機械工具会館6階ホール

終了後、懇親会 17:10~

2) 若手研修会

7月下旬~8月盆前までに実施予定。

講師は鶴田氏(ビジネススキル研究所)に依頼予定。

3) 製品研修会

9月28日(月) 10:00~16:00

機械工具会館6階ホール

4) 懇親ゴルフ会

11月28日(土)

5) 忘年懇親会

12月4日(金)KKRホテルにて開催。

この時期、政治・経済面で大きな変化がありそうなので専門家を講師として依頼する。

6) 情報交換会

2月16日(火)を予定(仮決め)。

7) 工場見学会

2月下旬~3月上旬

日程は2日間(1日目富山駅集合、金沢泊1泊2日)。

中部地区 正・副会員懇談会

日 時：6月16日(火) 13:00~15:00

会 場：(株)井高 本社5階会議室

参加者：20社、20名

懇談概要報告

1) 開会の挨拶と日工販総会の報告

高田委員長より、6月9日に開催された第46回通常総会の報告があり、定款の一部改訂、役員につて、富田会長(株)トミタ、高林副会長(丸紅マシンツールズ(株))の就任、池浦副会長(株)不二の留任、赤澤副会長(赤澤機械(株))の就任報告があった。

2) 27年度中部地区行事計画と進め方についての意見交換

10月17日【懇親ゴルフ会】

懇親ゴルフ会を四日市にて開催準備する。

10月【製品勉強会】

MECT2015に向けた製品勉強会の開催を予定。

品質・計測、ロボット(人型)、レーザー加工機、輸入機械業界、日本精密機械工業会メンバー等を交え検討となった

11月【工場見学会】

9社の候補とインダストリー4.0関連の候補が挙がり検討を進めることとなった。

12月3日【講演会、忘年会】

講演について、メーカー役員（出身者を含め）
打診し検討となった。

28年2月【情報交換会】

若手を主とした勉強会＋交流会を40～50人
規模で開催を計画する。

3) 市場動向など意見交換

各社から市場動向の報告や情報交換
残された時間で出席各社から簡単な現況報
告、問題点、ローカル情報などを発表してい
ただいた。

平成27年度 SE 講座・更新研修 講師打ち合わせ会

日 時：6月22日(月) 15:00～16:30

場 所：機械工具会館 3階会議室

出席者：SE 講師5名、更新講師2名、事務局2名

議 題：**1) 27年度講座集合教育日程・開催場所**

SE 講座：

10月15日～17日(大阪)

大阪研修センター江坂

10月22日～24日(東京)

機械工具会館

10月29日～31日(名古屋)

マザックアートプラザオフィス

更新研修：

11月13日～14日(名古屋)

マザックアートプラザオフィス

11月20日～21日(東京)

機械工具会館

2) 26年度SE教育、SE講座・更新研修総括

26年度は教育委員会委員会にて目標とした
受講生に対し基礎講座(目標100名、実績102
名)、SE講座(目標130名、実績119名)、更新
研修(目標80名、実績65名)でSE講座、更新
研修は目標を下回った。

3) 26年度講座アンケート報告

受講生のレベルも違っているため、あくまで
ご参考。

**4) 27年度SE講座・更新研修募集要項内容につ
いて**

【大阪会場・東京会場】第2日目の2時限と、第
3日目の2時限が【名古屋会場】では入替わる。
募集要項の講座名、略歴、講座内容について確
認いただき、SE講座、更新研修とも7月15日
迄に連絡をお願いした。

5) 27年度テキスト・テスト問題改訂について

テキスト・テスト問題改訂について内容等
の変更がある場合は、SE講座は8月14日、更新
研修は8月28日迄に原稿をいただくことと
なった。

6) ホテル予約先

東京会場は相鉄クッレサイン東京田町、名古
屋会場はメルバルク名古屋、大阪会場はホテ
ルパークサイドを予約。

7) 27年度基礎講座受講予定者

第1回6月18～20日実施、第2回7月13～
15日実施予定。定員120名に対し定員を超え
キャンセル待ち3件あり。

8) 27年度SE講座、更新研修受講者について

(一社)日本工作機械工業会の受注実績及び予
想の傾向を参考に予測しており、上昇ムード
を考慮し、目標はSE講座130名、更新研修80
名。

私の軌跡



マルカキカイ(株)
グローバル機材本部副本部長

黒澤 淳一

前回寄稿させていただいてから9年が経過しております。その際には輸入部で米国、欧州製品の取り扱い、タイ国駐在の苦労話などを述べさせていただきました。

寄稿させていただいてから半年後に2度目のタイ駐在を命じられ6年弱、単身での現地赴任を経験することになりました。再度目にするタイ王国は、10年が経過し、大きな躍進を遂げておりました。帰国時に計画の出ていた高架鉄道、建設が始まったバンナトラッドの高速道路が現実のものとなっており、地下鉄やエアポートリンクまで。悪名高きバンコク（ちなみにタイ人は“バンコク”と自分たちの首都を呼ぶことはありませんが）の渋滞も日々拡張される道路網、高架鉄道のおかげか、気のせいか幾分緩和されたような感じです。

1997年の通貨危機前の自動車生産台数が60万台に達し、世はあたかもバブル景気さながら、それが2度目の着任時には倍の120万台に唸々とする状況で関連する日系企業を始めとする外資系企業、現地企業の集積も目を見張るものがありました。

順風満帆に自動車生産国ベスト10入りかと思われたのも束の間、2008年のリーマンショック、続いて経済の牽引車たるタクシン氏の失脚による政治、経済の混乱と中進国入り後、現在まで続く長い足踏み状態を迎えることとなっています。

2度目の駐在期間中は様々な事件、トピックに巻き込まれることとなりました。PAD（黄シャツ）の空港占拠、奇しくもアジア有数の金属加工機械展タイメタレックスの直後で支援に来ていただいていた複数の取引先が足止め。ここぞとゴルフに打ち込まれる方（失礼）。焦ってもしようがないと取引先訪問に専念する方。タイ政府により急遽民間機に開放されたウタパオの海軍基地より帰国される方。ベトナム出張から陸路バンコクに帰還した剛の者など。PADの空港突入時にスワナブーン空港でチェックインが終わりゲートで搭乗待ちをされておられた方のお話もお聞きしました。

UDD（赤シャツ）の市内中心部の占拠長期化する中、夜間外出禁止令、これもタイ語にないのか英語そのまま curfew と呼んでおりましたが、日本人社員、現地社員共に勤務時間を早めに切り上げさせ退社。軍の投入と共に邦人を含み死傷者も多くなり、日本人居住者の多い地区からも煙の上がる様子が見え、これはいよいよバンコク退去かと心配しました。

2011年7月から始まった50年ぶりの大洪水、日本での水害とは異なり琵琶湖と同じ水域が広大な平坦地を徐々に首都に向かってくる状況が発生。日々訪問していた工業団地が最大5mの深さに水没するなど想像もできませんでした。水が首都に迫る中、社員とともに南部への避難を実施したり、水を始めとする生活物資の不足もみられました。

2011年11月に水が引き始めてからが修羅場でした。1日も早い生産復帰を目指しすべての関係者の方々が復興に打ち込まれました。弊社も本邦からできる限りの人員、物資の支援を仰ぎ、お取引先の復興に注力させていただきました。

いずれも経験したことのない事ばかり（再び経験したいとはもちろん思いませんが）、その中でも明るさを失わないタイの人々、また、同時期に現地でご一緒させていただいた方々との連帯感は貴重な経験でした。

19回目のクーデターで今も民政復帰を見ず、足踏み状態の同国ですが、10年を過ごし、少なからず様々な面で影響を与え、また公私に渡り様々なことを教えてくれたタイ国、タイの人々。それに対しタイ国ひいてはアジアの工業化、発展に引き続き、少しでもお役にたてればと念じております。

工作機械と私



マルカキカイ(株)
東京産業機械第二部
第二課次長
黒 沢 淳 一

今回、寄稿するにあたり、改めて振り返ってみると、業界にお世話になり、早20年以上が経過していることに愕然とする思いです。

海外に雄飛する夢を抱き、また、生来の機械好き、車好きが当社に入社するきっかけでした。最近、1,300年前の無名の遣唐留学生の墓碑が長江の工事現場より発見されましたが、当時は若者が海外へ雄飛し、先進的な知識を吸収したいという情熱は変わっていなかったのだな、と思う反面、日々の仕事に埋もれている自分の変わりようには何とも言えない気持ちです。

入社当時は不景気の真っ盛り、2年間はみっちりと経理、貿易等の勉強をさせていただき、機械のきの字もない世界でしたが、これが後にどんなに役に立ったか、当時はなかなか仕事に身が入らなかったのです。

漸く、営業に出た初めが輸入品の販売でした。欧米からの輸入ということで張り切ったもつかの間、納期遅延は当たり前、品質についてもクレームの嵐の日々でした。工業製品についてはあちらは確かに大先輩ではあるが、どうも、こりゃ考え方が根本から違うな、ということに気づくまでに時間を要しました。こちらからメーカーへ出張を重ね、メーカーからも来日してもらい、取引先回りを行いました。日本のゼロディフェクトという考え方はどうあっても理解してもらえなかったようです。

その後、アセアンの中でも成長著しいタイへの赴任を命じられ、入社から10年をして当初希望していた海外駐在ということになりました。今も続いています。当時は日系企業の進出ラッシュの端緒でした。一年目は考えている間もなく、予定表は次々に埋められてしまうような状況、二年目に家族も帯同でき少し周りが見えるようになり、仕事にも充実した日々を過ごす事ができるようになりました。

毎日が夜討ち、朝駆けで休みもなし、家族にも随分と可哀想な思いをさせていただきました。家族と居る時間よりも機械と一緒に居る時間の方が完全に長い状態で(今もあまり変わらないか!)、帰国後は罪滅ぼしに力を入れようと思ったものでした。

帰国後は本社で東南アジアへの輸出の窓口、アジア通貨危機による景気悪化を経験し、更に東京で国内営業と当社業務のほとんどのことを経験させていただき、貴重な財産とっております。

新しい仕事に就く度に不安の中、無我夢中で取り組んでいく中で何度も捨てていただいた得意先、メーカーの方々のご好意に少しでもお返しができるかと思いつつ、幾つになっても勉強の連続、世はますます海外、国内のバリアが消え、ユーザー様の海外進出のお手強い、若手社員の育成にと体力の続く限り、奮闘するつもりです。

入社当時から今も周りの方には随分とご迷惑をお掛けしましたが、がむしゃらに前後も考えずに進んできた中でタイ時代は手動変速機、東京でエンジン、自動変速機の各有力ユーザー様を担当させていただくことができ、機械屋としては、これ以上の経験はないのでは、と20数年間お世話になった社内外の方々に改めて感謝申し上げる次第です。

統

計

資

料

工作機械・FA流通動態調査 1

統計1

単位百万円

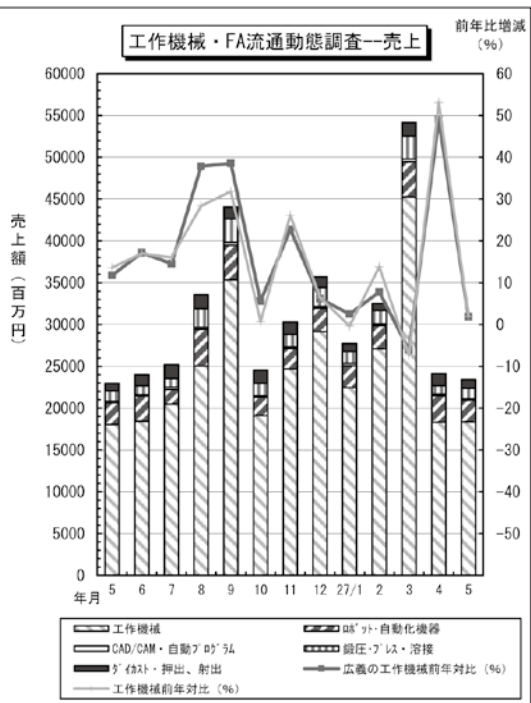
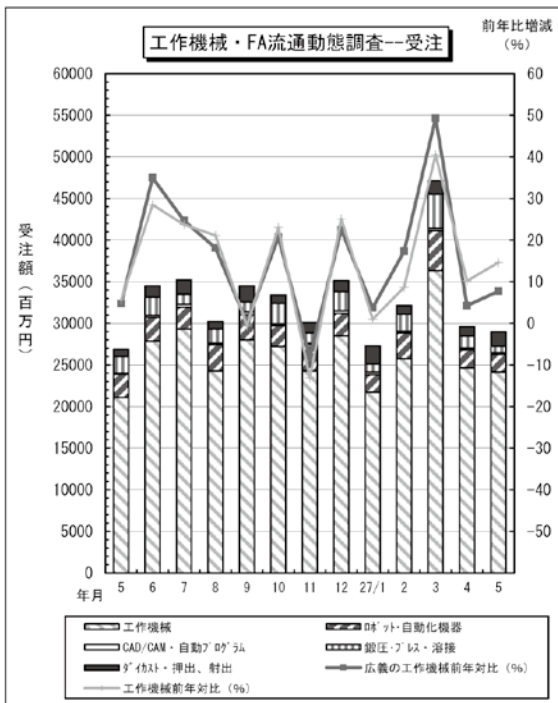
39社合計		受 注					売 上				
調査月次	27/5	前月比	前年比	27/1-27/5	前年比	27/5	前月比	前年比	27/1-27/5	前年比	
広義の工作機械	24,167	-2%	14.6%	132,596	15.8%	18,383	0%	1.9%	131,518	5.0%	
ロボット・自動化機器	2,120	-3%	-23.9%	14,324	19.2%	2,588	-18%	-0.8%	15,338	23.6%	
CAD/CAM・自動プログラム	205	-5%	34.2%	1,212	-3.7%	131	-39%	-31.9%	1,162	-19.4%	
鍛圧・プレス・溶接	747	-48%	-62.6%	9,272	35.5%	1,278	27%	5.2%	7,989	-17.8%	
ダイカスト・押出、射出	1,741	53%	96.1%	7,735	29.5%	1,040	-28%	11.6%	5,971	12.9%	
小計	28,980	-2%	7.7%	165,139	17.5%	23,420	-3%	1.9%	161,979	5.1%	
工作機械以外の扱い商品	19,813	15%	10.5%	91,702	3.3%	14,595	2%	-27.3%	95,539	1.7%	
合計	48,793	4%	8.8%	256,841	12.0%	38,015	-1%	-11.7%	257,517	3.8%	
従業員数	1,383	1%	1.5%								

統計2

単位百万円

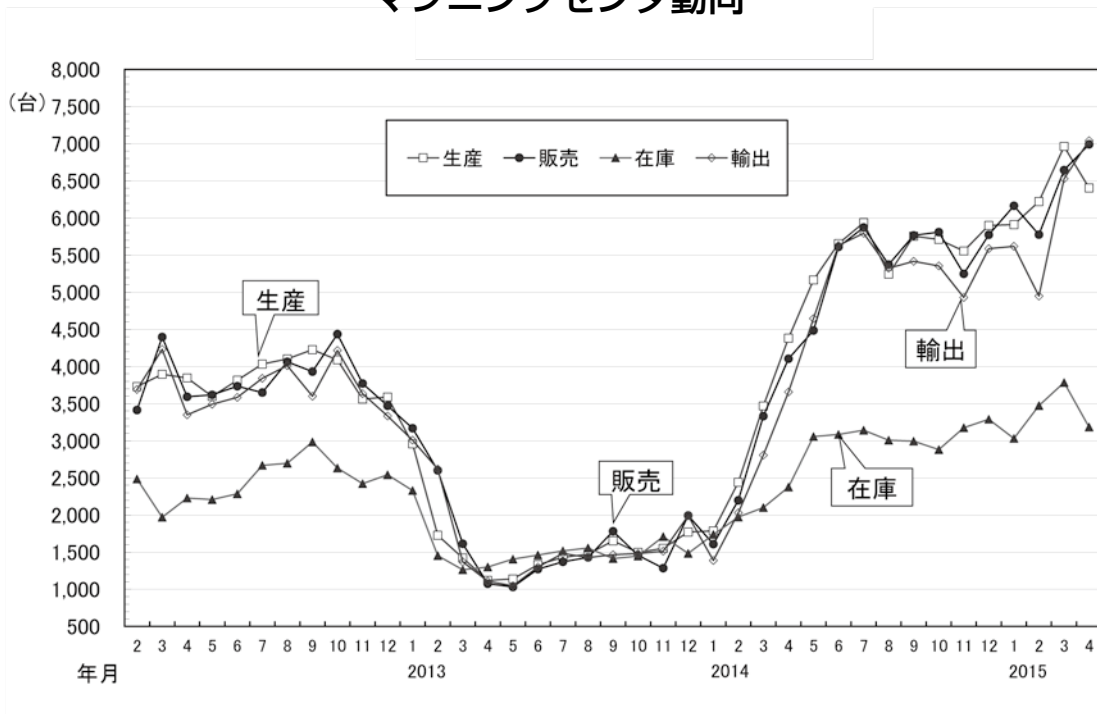
30社合計		受 注					売 上				
調査月次	27/5	前月比	前年比	27/1-27/5	前年比	27/5	前月比	前年比	27/1-27/5	前年比	
直販	24,233	40.2%	39.5%	111,243	26.1%	14,907	6.4%	-18.0%	102,985	2.8%	
(内リース)	812	-16.2%	7.9%	4,125	-6.8%	651	-35.6%	-41.3%	8,639	57.7%	
卸	7,555	7.6%	30.0%	38,783	29.6%	5,327	-10.8%	28.8%	40,003	10.8%	
輸入	6,902	540.8%	457.7%	13,063	70.8%	1,072	-23.7%	21.4%	8,053	3.9%	
輸出	6,090	-14.3%	-29.6%	41,146	1.8%	7,639	1.3%	-38.2%	47,323	6.3%	
(内間接輸出)	1,153	-33.4%	-24.9%	10,073	30.8%	2,234	27.8%	37.7%	14,406	89.2%	
従業員数	998	1.0%	0.1%								

注：本調査は、20年4月より集計対象会員を見直し、前年分も集計し直した数値と比較した。
 会員73社中統計1に関しては39社、統計2に関しては30社の回答を得て集計したものである。
 折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。
 参考までに今月のデータ提供会社総数は42社である。

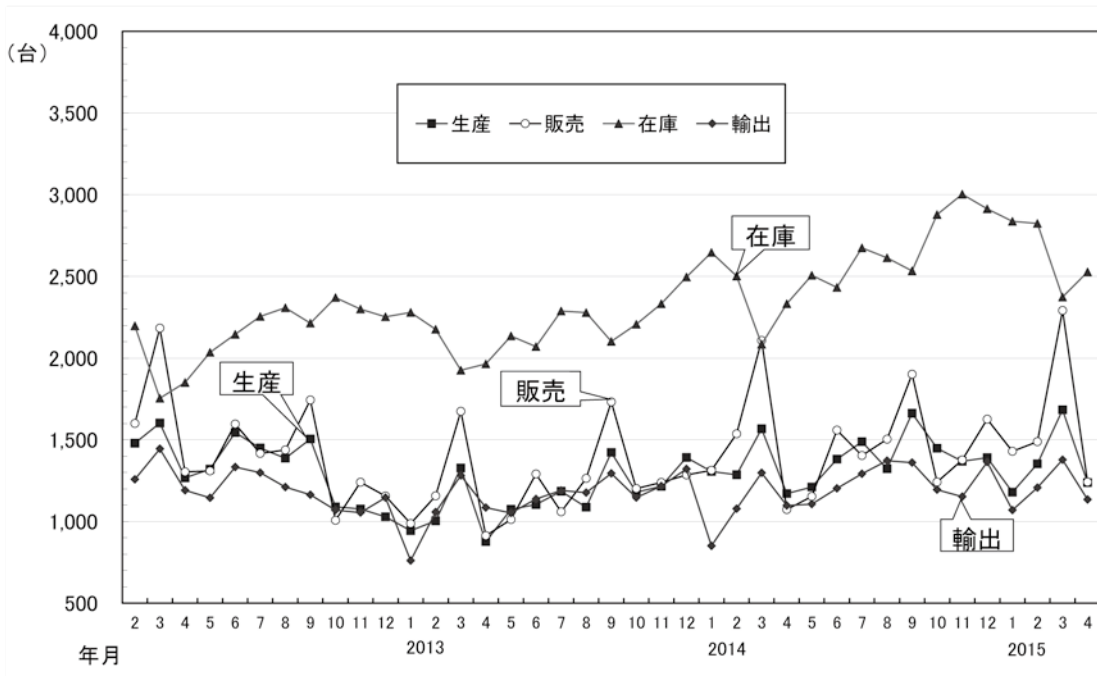


見てわかる 3年間の代表2機種の特長

マシニングセンタ動向



NC旋盤動向



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械業種別受注額(2015年5月)

4月16日発表

(単位：百万円・%)

	2014年 累計	前年比	2014年 10~12月 累計	2015年 1~3月 累計	前期比	前年 同期比	2015年 1~5月 累計	前年 同期比	5月分	前月比	前年同月比
1. 鉄鋼・非鉄金属	11,584	101.1	3,380	3,644	107.8	119.3	6,375	128.6	1,564	134.0	126.2
2. 金属製製品	23,280	127.4	3,252	6,719	107.5	129.3	12,457	155.5	4,329	307.2	297.5
3. 一般機械	199,946	122.7	56,533	52,434	92.7	124.4	89,123	126.6	19,784	117.0	142.2
(内金型)	26,589	103.3	7,495	6,908	92.2	114.0	12,202	126.1	2,981	128.9	138.7
4. 自動車	167,660	135.7	47,164	47,685	101.1	129.8	85,371	136.6	16,468	77.6	119.0
(内自動車部品)	117,474	142.8	33,986	35,284	103.8	144.0	64,057	151.6	12,962	82.0	151.8
5. 電気機械	27,412	137.4	8,376	6,117	73.0	114.1	10,817	128.5	2,741	139.9	218.2
6. 精密機械	17,151	121.4	4,221	4,900	116.1	142.9	8,544	124.0	2,093	134.9	108.7
5~6. 電気・精密計	44,563	130.8	12,597	11,017	87.5	125.4	19,361	126.5	4,834	137.7	152.0
7. 航空機・造船・運送用機械	20,558	91.2	7,187	7,962	110.8	174.0	13,122	193.3	2,870	125.3	269.7
3~7. 小計	432,727	126.1	123,481	119,098	96.5	129.1	206,977	133.5	43,956	100.1	137.4
8. その他製造業	13,012	106.6	3,674	3,169	86.3	126.9	5,264	110.9	1,084	107.2	99.4
9. 官公需・学校	4,110	80.1	2,153	334	15.5	61.3	775	93.5	412	1420.7	204.0
10. その他需要部門	6,400	115.1	1,644	2,081	126.6	134.1	3,620	152.5	1,160	306.1	254.9
11. 商社・代理店	5,278	104.5	1,531	1,619	105.7	152.3	2,501	134.8	335	61.2	113.9
1~11. 内需合計	496,391	123.8	142,115	136,664	96.2	128.7	237,969	133.9	52,840	109.0	143.9
12. 外需	1,013,006	141.1	274,879	263,313	95.8	117.2	435,174	110.0	85,705	99.5	102.3
1~12. 受注累計	1,509,397	135.1	416,994	399,977	95.9	120.9	673,143	117.4	138,545	102.9	115.0
(内NC機)	1,474,239	135.7	408,280	392,600	96.2	122.6	659,745	118.3	135,478	102.9	114.8
販売額	1,422,184	129.9	353,336	438,320	124.1	120.0	663,974	121.8	114,072	102.2	116.0
(内NC機)	1,388,366	130.1	345,248	430,625	124.7	121.3	652,144	122.8	111,668	101.7	115.9
受注残高	652,213	115.2	652,213	613,854	94.1	115.8	661,753	111.7	661,753	103.8	111.7
(内NC機)	624,303	115.8	624,303	586,281	93.9	116.6	632,857	112.1	632,857	103.9	112.1

(注) その他製造業 …… 楽器、皮革製品等の製造業

出所 (一社) 日本工作機械工業会



リレー随筆



三菱商事テクノス(株)
大阪支社産業機械部 係長
松井 健

はじめまして！ 三菱商事テクノス(株)大阪支社 産業機械部の松井と申します。

このたびキタムラ機械(株)大阪営業所 藤野所長からバトンを引き継がせて頂きました。これまで各社重要ボスの皆様でリレーされる中、突然若輩者のリレーにて、大変恐縮では御座いますが、暫し御付き合下さい。

私は、三菱商事テクノス(株)に入社して12年目、今年で36歳になりますが、工作機械関係の機械屋としては新参者の1年生です。私は弊社に入社後、東京の本社にて印刷会社向け印刷機・FA設備等の営業を担当、その後親会社への出向を挟み、本社にて店舗向け空調機、冷凍機設備等の営業等に携わって参りました。

昨年7月に急遽、本流部隊への異動を命ぜられ、家族揃って見知らぬ土地、大阪に転任して参りました。同じ会社に居ながらも、全くの他業種に転職した気分で、冷や汗をかく毎日を送っております。

只、私が弊社に就職した頃には、色々な業界に対面して、多種多様な経験をしたいと思っていたので、今回の異動は、漸く弊社本流の仕事ができるという嬉しい想いでもありました。しかし、30代半ばにして突然機械屋になるというのも中々簡単なことではなく、機械の知識も人間関係もゼロ、おまけに10年下の後輩ですら自分より機械屋経歴が長いので、のんびりもしてられません。

ところが、さすがに関西は人情深い地域で、多くの皆様に助けてもらい、何とか一年が経過しました。これからも一年一年経験を積み重ねて、関西の皆様になんとか恩返しをしたいと思っております。

また、今回の異動では仕事の内容が変わったことに加えて、一番困ったのが車の運転でした。東京と大阪では運転手法が異なると言う人も多いですが、私にとっては自動車教習所以来の運転だったのです。東京本社での勤務時は、たまたま車での営業はありませんでした。車の運転に慣れるまでには苦労しましたが、半年もすれば運転が楽しくなり、おまけに大阪の交通事情が知らない私は、阪神高速環状線の運転も割り込みも怖くはありません(笑)。とは言っても注意は必要ですが、今ではマイカーを持って、週末のドライブが楽しみな毎日です。

さて、先日の話ですが、ある外食チェーンで、メニューに載っていた“けんちん汁”を注文して故郷を思い出しました。けんちん汁は、地域によっては召し上がらない方もいるかと思いますが、家庭料理としてもある程度認識されていますよね。ここで故郷と申しますのも、私は神奈川県出身で、私の母校(高校)を運営するお寺に、鎌倉五山第一位の建長寺というお寺があります。

けんちん汁の語源には、この建長寺の開山であった蘭溪道隆が、崩れてしまった豆腐を野菜と煮込んで作った汁物に由来するという説があり、この汁物が建長寺汁、建長汁と呼ばれるようになり、訛ってけんちん汁になったというものです。

諸説あるようなのですが、建長寺も認めている話ですので、本当なのではないかと個人的には思います。私が高校生の時に、母親にこの話をした時に「バカな冗談はよしなさい!」と言われましたが、鎌倉の街を歩いていると、けんちん汁という食事処の幟を目にするので、母親も信じるようになりました。

東京本社にいた時には、鎌倉を散策することは少なかったですが、離れてみると故郷が懐かしくなります。そろそろお別れとなりますが、次は三菱電機(株)関西支社 産業メカトロニクス部 放電加工機課 宮本康正さんにバトンをお渡ししたいと思います。

宮本さんは私より一つ年上で、同世代かつ業界歴も浅いという共通点もあり、公私ともに親しくさせて頂いております。是非この場で自己PRしたいとのことで、次のバトンを快諾頂きました。それでは宮本さん、宜しくお願い致します!

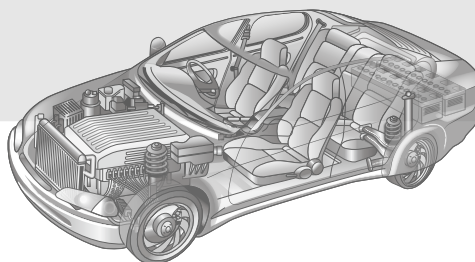
号口（ゴウグチ）について

号口で知ってますか？

中部地区の自動車関連で携わっている方はみなさんご存知ですが、その他地区ではあまり聞きなれないフレーズだと思います。

号口とはトヨタ用語で生産試作を終えて本生産することで、つまり量産の意味です。
(英語では Regular Production)

由来は製品の一定数量を1口（グループ）として各口に連番を付けて、その号数で工程管理したようです。最初に完成する製品10個のグループを第1号口とすれば、2番目以降のグループは第2号口、第3号口となり、各号がどの工程にあるのか分かります。



日工販SE合格者 第203回発表

今回の発表は2015年5・6月の合格者13名です。

2015年5月合格者8名

認定No.	会社名	合格者名
15-24-2982	(株)大和商会	杉浦 祐基
15-24-2983	(株)大和商会	手操梨々花
15-24-2984	京華産業(株)	西川 祐樹
15-24-2985	オークマ(株)	加藤 雄己
15-24-2986	三菱電機(株)	頃末 勇氣
15-24-2988	(株)ヤスヒラ	小和 弘典
15-24-2989	(株)山 久	茂森 治之
15-24-2987	喜一工具(株)	才寺 宏治

2015年6月合格者5名

認定No.	会社名	合格者名
15-24-2990	帝通エンヂニアリング(株)	渡辺 雅之
15-24-2991	(株)大和商会	三浦 大弥
15-24-2992	三菱電機(株)	宮本 康正
15-24-2993	三菱UFJリース(株)	平田 雅司
15-24-2994	ユキワ精工(株)	羽賀 裕之

“人材”



甲信商事(株)
執行役員機械営業部長

半 場 宏

「金ぞくに穴をあけるきかいをはじめて見ました。」「工作きかいはいろいろできてすごいと思いました。」取引先に工場見学した児童からのお礼の手紙を通路に貼りだしてありました。30数名、個々の想いが詰まった手紙で見学している様子が覗えるようでした。

「ぼくもプログラムとか習ってきかいを動かしてみたいです。」

県内に於いて、各地域ごとに規模の大小はあっても地元の産業をPRする展示会が毎年開催されます。その展示会に小学校をはじめ高等学校の児童生徒がメモを片手に熱心に各ブースを見て回る光景を目にします。地元の職業系高等学校や技術専門学校、大学などの授業の様子や研究課題の発表をいろいろな趣向を凝らして見せてくれます。

展示会に合わせて企業説明会を開き、地元で働く人材を確保する試みもありました。企業が大切にしている技術や考え方を披露する機会であり、学生や生徒にとっては自分が希望する企業が実際にどんなことをやっているか見聞きする絶好の機会になっています。

当社とお取引いただいているお客様で、技能五輪の溶接、フライス盤や旋盤部門に出場する選手を育成する会社が多くあります。会社の終業時間後や休日に先輩社員や地元のベテラン技能者の方々が講師になって教えて頂いているようです。

競技大会の会場へ社員全員で行って応援したり、他社の選手の加工技術を見たりして社員各自の技術向上のモチベーションになっているようです。

出場した選手の方に話を聞くと、時間内に課題が終わらなかったことを悔しがり段取りや道具の使い方を反省していました。実際やってみないと判らないことなので出場したことは彼の財産になったのではないのでしょうか。

社員に技能五輪出場の機会を与えるだけでなく、自らシニア技能五輪に出場している社長がいます。社員とともに技術研鑽に努め、ともに戦う。頭の下がる思いです。

生産工場の機械加工技術伝承は一朝一夕にはいきません。地道に熟練者が教えていかなければなりません。技能検定を積極的に取り入れるお取引先が増えてきました。あるお取引先の班長の方でNCフライスに挑戦し、見事、県で2位という成績を収められました。県庁で表彰され、後日会社から社長賞を頂いたようです。

工作機械メーカーの工場へ行くと、ロビーに各種技能取得者の名札が掲げられています。

その名札はその会社の誇りであり機械操作や組み立て、検査に精通した人たちによって機械が産み出されています。より良いものを造りたいという心意気が伝わってきます。

いつしか周りを見ると、少し前まで現場でいろいろお教え頂いた方々が退職されたりお取引先の社長の代替わりがあったりと現場も経営も代わっていきます。

これからも会社を盛り立てている皆様と共に歩ませて頂きたいと思っています。

海外だより

(株)牧野フライス製作所 玉川 英史



ヨーロッパのほぼ中央に位置する、ドイツ南部 バーデン=ヴュルテンベルグ州の州都シュトゥットガルトに私は住んでいます。人口約60万人のシュトゥットガルトには、ドイツを代表する企業のダイムラー、ポルシェ、ボッシュが本社を構えています。経済的に豊かなドイツの中でも、さらに裕福な地域として知られており、失業率も全国平均を下回っています。

また、昔から技術革新が起こる地域としても有名で、先ほど述べた大企業だけでなく、ドイツ経済を支えているといわれる、独自の技術を持った中小企業「ミッテルシュタント」が数多くあります。

地理的には、ミュンヘンやフランクフルトなどのドイツ国内の大都市や、フランスやスイスの国境など車で約2時間で繋がります。さらに足を伸ばすとベネルクス3国やオーストリア、イタリア、チェコ、ポーランドまで届きます。

私がここドイツにて駐在生活を始めたのは2011年2月です。その前の駐在先であった、イタリアでの滞在ビザ取得には非常に苦労を経験しました。そのため、ドイツでの生活は少し身構えてスタートさせましたが、そこは移民を積極的に受け入れている国らしく、生活の立ち上げは驚くほど順調に行きました。大半の住民が英語を理解できるので、私の拙い英語でもコミュニケーションは取れましたが、やはり少しでもドイツ語で会話するだけで対応が良くなりました。

ここでは、老人や子供に対しての配慮がきちんと教育されており、バスや電車に乗る老人へのサポートや、ベビーカーの持ち運びなどの手助けを、高校生らしき若者が率先して実行しているのを良く見かけます。



Stuttgart



German Food

しかし、自分の仕事については責任感を持って臨むが、それ以外については「我、関せず」といった面もあり、日本とは180度異なる態度のため、最初は戸惑いました。基本的にルールに則っている限り、余計な詮索は受けずスムーズに事を運ぶのがドイツ人気質だと感じました。

妻と息子は私から半年遅れでドイツでの生活を始めました。妻にはイタリア、ドイツと見知らぬ土地を連れ回すことになってしまい、様々な不安や葛藤があるかと思いますが、日々息子連れて、ママ友と美味しいレストランや素敵な景色の場所を発見し、私に教えてくれます。息子は現地の幼稚園に元気に通い、私よりも達者なドイツ語を使い遊んでいます。家族の元気な様子が私にとっての一番のサポートです。

会社は現在オフィスを増築中であり、自分が所属しているチームもヨーロッパ各国から増員された結果、合計20名、9カ国の国籍が入り混じる多文化な組織になっています。共通のバックグラウンドが無い為に、相互理解に時間が掛かることがあります。想像もつかない視点や考え方を目の当たりにできるのは大変貴重な経験であると共に、組織に柔軟性を持たせるといった利点もあると確信しています。

なんとか丸4年を大過無く過ごす事ができました。公私共にお世話になった方々への感謝を忘れず、残りのドイツ生活を満喫したいと思っています。



Makino Office

行事予定

政策委員会・定例理事会	9月2日(水)	大阪・大阪産業創造館
政策委員会・定例理事会	11月12日(木)	名古屋・安保ホール
西部地区講演会・忘年懇親会	12月2日(水)	新大阪江坂東急イン
中部地区講演会・忘年懇親会	12月3日(木)	メルパルク名古屋
東部地区講演会・忘年懇親会	12月4日(金)	KKRホテル東京
定例理事会	平成28年1月13日(水)	第一ホテル東京
賀詞交歓会	平成28年1月13日(水)	第一ホテル東京

展示会

難加工技術展2015・表面改質展2015	9月8日(火)～10日(木)	パシフィコ横浜
測定計測展 Measuring Technology Expo 2015	9月16日(水)～18日(金)	東京ビックサイト
EMO MILANO 欧州国際工作機械見本市	10月5日(月)～10日(土)	HIERA MILANO 国際見本市会場
MECT2015(メカトロテックジャパン2015)	10月21日(水)～24日(土)	ポートメッセなごや
2015国際ロボット展	12月2日(水)～5日(土)	東京ビックサイト

会員消息

入会

西部地区正会員 (株)ニツツマシナリー

〒610-0331 京都府京田辺市田辺狐川40-95

代表者 取締役社長 竹重 至

電話：0774-68-1224 FAX：0774-63-5758

東部地区正会員 イワイ機械(株)

〒362-0015 埼玉県上尾市緑丘2-7-19

代表者 取締役社長 祝原英俊

電話：048-772-8211 FAX：048-772-8220

代表者変更

東部地区正会員 三菱商事テクノス(株) 取締役社長 中野 智

中部地区正会員 (株)日本精機商会 取締役社長 早川淳司

編集後記

- 鬱陶しい梅雨が始まりました。“梅雨が来る前に田植えし終えないと、稲はまともに育たん”と言われていますが、雨水にはミネラル分が含まれており、これが稲にとって根っこからだけでなく葉っぱからも大量の水と栄養素を吸収出来る事に繋がり、稲が成長しきる事になります。梅雨の長雨が稲作にはなくてはならない訳です。因みに中国のウイグル自治区の乾燥地区の稲穂は膝丈位で出穂するそうです。

さて梅雨と言えば真っ先に紫陽花が浮かぶのではないのでしょうか。梅雨に合わせ5月から7月にかけて紫の花を咲かせますが、一般に花と言われている部分は装飾花で、おしべとめしべが退化した中性花。花びらに見えるものは萼(がく)と呼ばれる花卉の外側の部分になるそうです。紫陽花は土壌の酸性度によって花の色が変わり、一般に酸性なら青、アルカリ性なら赤になると言われており、花を青色にしたい時は酸性の肥料やアルミニウムを含むミョウバンを与えます。また、花色は開花から日を経るに従って徐々に変化し、最初は葉緑素により薄い黄緑色ですが、それが分解されていくとともにアントシニオンという色素や補助色素が生合成され赤や青に色づいていきます。さらに日が経つと有機酸が蓄積されて青色の花も赤味を帯びて行きます。花の老化によるものだそうです、我々どこか似ているかも知れません。

日本にはアジサイ寺が各所にあり、私もご多分に漏れず以前横浜の郊外に住んでいた時は鎌倉の名月院を訪ね、埼玉に越してからは熊谷の能護寺を訪れたりして、日頃の疲れが癒されました。今年も少し足を伸ばして新しいアジサイ寺を訪ねてみようと思っています。(菊池)

- 今年の梅雨は、6月初めに気象庁が出した予報では、気温は平年並みに高め、北陸・東北では入梅が遅めとの見方でした。本号が皆様のお手元に届くころには、梅雨明け宣言となり本格的な夏の暑さを迎えている場所もあることと思います。

夏の気温が高めだと納涼を求めてビアガーデンに行く方も多く、夏の季節ものの売上も期待ができるのではないのでしょうか？ また、景気も回復基調が続いており、夏の電力需要も下がらず供給はどうかと心配になりますが、政府や経済産業省など関係省庁の5月の発表によれば、「沖縄電力をのぞく、電力需給の点で懸念のあった9電力会社すべてで、電力管轄間の電力融通まで考慮すれば、電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3.0%以上をギリギリながらも確保できる」見通しだそうです。とは言え、「想定外」の事態にならぬよう個人でも会社でも「節電」に努め、「良い夏」を過ごしたいと思います。(中村)

「日工販ニュース」 Vol.2—2015

平成27年7月15日発行

発行 日本工作機械販売協会
〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

発行責任者 専務理事 宇佐美 浩

編集 日工販調査広報委員会
委員長 丹波 優 (伊藤忠マシンテクノス(株))
委員 手塚正樹 (双日マシナリー(株)) 中村龍二 (株)トミタ
菊池一雄 (株)ナチ常盤 稲垣誠人 (三菱商事テクノス(株))
港 省司 (株)牧野プライス製作所 福島 透 (日本GE(株))